

総務、産業、建設常任委員会記録

招 集 年 月 日	平成30年9月18日(火)
招 集 の 場 所	議員控室
開 会	午後3時7分
出 席 者	委員長 鈴木 宏通 副委員長 山岸 三男 委員 吉田 眞悦 委員 吉田 二郎 委員 佐野 善弘 委員 櫻井 功紀 委員 千葉 一男
欠 席 者	
職務のため出席した者の職氏名	議会事務局主事 高橋秀彰
協 議 事 項	・定住化促進について (政策提言に向けて)
そ の 他	
閉 会	午後4時9分

2号様式 協議の経過

<p>鈴木宏通委員長</p>	<p>それでは、第13回総務、産業、建設常任委員会を始めたいと思います。委員全員出席でございますので、委員会は成立しております。</p> <p>本日、大変分科会審査でお忙しいところを残っていただきましてこれから常任委員会の部分で議会報告会による資料の提出の部分の皆さんに御協議及びその部分の確認等を進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いを申し上げます。</p> <p>早速会議に移らせていただきます。「定住化促進について」の研究テーマにつきまして皆様に資料として何枚……3枚ですか、皆さんに配りましたので、まずこの部分を確認していただくため、5分間休憩を取りますので、確認のほどお願いを申し上げ、その後再開により皆様のいろんな御提案等をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いを申し上げます。</p> <p>それでは休憩いたします。</p>
	<p>休憩 午後3時 8分 再開 午後3時13分</p>
<p>鈴木宏通委員長</p>	<p>再開いたします。</p> <p>ただいま、定住化促進についての研究テーマのある程度の、今回議会報告会にまとめさせていただいた資料になりますが、まず最初に1として現状。まずこれは美里町の総合計画及びその部分をデータとして参照し、現状を主に記載させていただきました。町のこの下段の部分は、町としての分析について今後の課題と報告をこの総合計画の中に示された部分でございます。</p> <p>次ページ、目的につきましては、常任委員会としての定住化促進に向けたさまざまな移住・交流、地域の関わりを推進する今後の町の進め方に政策提言を行いたいという方向をつけて目的とさせております。</p> <p>3番目の町の施策については、現状27年度から行われている定住奨励事業についての部分の3項目、そして補助金額について。あと(2)の空き家利活用に関しては、登録制度の要綱と今そのような制度がある、空き家バンク制度もあり、実際7件ほどホームページにはございませぬし、現状では3件は売買完了になって、今4件ほどの部分しか載っておりませんが、きょうも分科会で課長に更新はしないのかお尋ねしたところでございますが、そのとおりになっております。</p> <p>(3)番の定住化促進事業の実績ということで、27年度から主な申請件数についてと転入加算、新婚加算、子育て加算の件数のみを記載しました。実際、このような推移で29年度までには増加しているという実績報告になります。最後のページには、それをもとに今後30年度以降の部分で町が駅東地区の分譲がほぼ完了したということで、そのような町内、近年は大崎地域または町外の方の住宅を求める方々が多いということで、駅東の分譲が終了したため今後鈍化していくものと推測されるということを記載しました。</p>

	<p>4番目には政策の提言に向けてということで、本常任委員会に今まで本町の取り組みについての考察、または近隣自治体の取り組みについての資料等の分析・解析からの部分。あと所管事務調査における先進地の取り組みから今までのこのやってきた部分での定住化促進の今後のあり方について考察するというところで、前回主に所管事務調査で行った提言に向けてというところの文面を主に載せさせていただきました。</p> <p>特にこの5項目だけではないもちろん考えまして、一番最後にこのような文を載せた次第でございます。</p> <p>以上、議会報告会に向けた、今までの所管事務調査の報告というのではなく、私個人的にこういう報告書の中で提言に向けて進めたらいいかなと思ってまとめさせていただきました。以上でございます。</p> <p>もし、いろいろ御意見があればお願いしたいと思います。それから、私も悩んだんですけども、一応こういう形で報告会への委員会の報告なりテーマの部分での提言ということで作成させていただきました。</p> <p>あと、もしいろいろ提言に向けての質問の各項目については、主に7月に行いました所管事務調査の中でいろいろ皆様からいただいたものをまとめて、それぞれ皆様同じような所見をいただいたと認識しておりますし、考えを持ったということでそのような案文を載せましたので、この事例はどういう意味だということのかなり質問があるかと思いますが、その先進地に向けてそのときに例えば若狭町ではこういう取り組みをしておりました。例えばあとは私たちが行ったところはこういうところでした。近隣の市町村で例えば地域おこし協力隊の部分はないのかという質問も仮にあるかもしれませんが、その部分も前回いろいろ作成していただいた、事務局にいただきました資料等にも載っておりますし、その部分で説明は十二分に可能かなと思ってますし、提言に向けた部分もさまざま皆さんとともにいろいろと協議してきた部分でこのようなまとめ方にした次第でございますけれども。</p> <p>もし、この文面、この案件、これを足したらいいんじゃないかというのがあれば、皆さんと協議して進めてまいりたいと考えますので、よろしく御審議というか話し合いをしていただければいいかなと思ってます。</p> <p>もっと具体的な例を挙げたらいいのかということと、本来は。あとは、もし質問が来たときに答えればいいのかということも多少は考えたので、ちょっとある程度抽象的な表現、具体性のない表現になってしまったかなと思う表現もありますが。</p>
櫻井功紀委員	いいんじゃないですかね。
山岸三男副委員長	4のね、(1)から(5)番まで……
鈴木宏通委員長	こないだも同じ文面で……
山岸三男副委員長	うん。考えるはいいんだけど、今委員長の懸念しているこれらに対して議会報告会で町民の方からこの具体的なことをどうなんだと聞かれたときに……

櫻井功紀委員	資料あっちゃ。
山岸三男副委員長	資料はあるけども、3班に分かれているわけだから、一人ひとりまちまちにばらばらの意見を.....
鈴木宏通委員長	それでいいと思うんですよ。みんながこの1つの答えではないと思うので.....
山岸三男副委員長	いや、それは違うんです。常任委員会所管事務調査で行って、皆さんそして協議をしているんだから、これは一応一定の答えは出さなくちゃならない。それについて議員の個人の感想なりそういうのを言うのは自由です。こいつ全部5つもばらばらではうまくないでしょ。
鈴木宏通委員長	<p>だから、所管事務調査の報告書の中で、皆さんの共通の認識としてこの5つの部分が皆さんとしての共通意見としての認識がとられていると私なりに思っていますので、その認識をもっていた中で、例えばいろんな施策やこれから行える部分というのはそれぞれ議員によっても捉え方が違うし、いろんな幅があって然るべきかなと私なりに考えたのでこの具体的な案件には触れなかったと言ったらいいですか。</p> <p>あと、説明の中でも今までやってきた事務展開を、近隣の町村はこのようなことをしています。あとは先進地の所管事務調査の中では例えば関東関西においていろんな、もし来ていただく中で旅費のサポートをしていたり、いろいろな取り組みもやっているところもあれば、例えばあそこにはないですけども、住宅の住む用地を宛てがっていたりと、例えばこういう移住・交流サポートセンター等というこのところにかかってくるので、そういう部分を所管事務調査してきていただいた、見てきていただいたところの事例を紹介していただければいいかなと思ったので。大変、具体的な範例は挙げなかったの。</p>
櫻井功紀委員	いいと思うよ。
鈴木宏通委員長	それしかないのかと言われるのも.....思っていたので。
櫻井功紀委員	またずらずらと長くするよりいいんでないか。
鈴木宏通委員長	<p>はい。あと例えばその各括弧書きに書かれた部分のところは、例えば情報発信なり、PRの資料を必要とするというのは、例えば東京の有楽町のサポートセンターの部分もありますし、例えばそういう部分の1つの項目でこれだとは書いていませんが、それと思われるような文面なので。3番目だけですかね、地域おこし協力隊って書いたのは。あと4番に関しても交流人口、応援隊的な人たちという表現という部分も例えば若狭のおかみさんの会だったり、東京だったり、大阪の会だったりそういう部分で地域の応援する応援的な会が自発的にその地域で東京なり関東のほうでやられているというところを具体的にやって、若い人からの飲み会なんですという話をしていただければこれでいいかなと思いますし。うちのほうでも、今南郷地域のほうでの東京のほうのそういう会もありますし、そういう生かし方もいろいろ考えられると思いますので、それについての説明をお願いしたいと。あとは5番が住民の流出を少なくする応援体制というのはちょっと抽象的ですけど、具体的に括弧</p>

	書きにもありますけれども、やはりそのいろんな企業または学校、その他のいろんなくっつける部分はあるだろうと思うので。その部分で... ...、あともちろんこの以外の部分で御提言いただける部分。あとはこれはこうではだめなんでないかという部分もあるかと思いますが、さまざまな御提案をいただければなと思っています。
櫻井功紀委員	いいんじゃないですかね。一生懸命まとめてくれたんだもの。あとは質問が来たらこっちで答えられるわけだし。
鈴木宏通委員長	もちろん、副委員長が言った共通の認識も大切ですけど、たしかたぶん皆さん共通の認識であることは提言の前の報告書を見ていただければわかると思うんですが。
佐野善弘委員	3ページ目の居住地域別ではって、これは何年のやつでしたっけ。
鈴木宏通委員長	これは前のページを見ていただければわかるんですが、27、28、29の部分の.....(「3カ年の」の声あり)3カ年の申し込み件数ありますよね。その部分での足したものが、駅東地区が131件、北浦地区が43件、不動堂地区が25件。もちろんそのほかの地域もありますが、多い所3地区だけ限定させていただいてこういうふうに掲載しました。居住地域別ってありませんでしたか。(「一番上にね」の声あり)ここが3年分の足したものの総数です。だから本当はもっと詳しく、駅東地区27年度何件とかってわかるんですが。皆さんたぶん資料として持っていますので、私も資料からとったので。これはまちづくり推進課からいただいた資料をもとにつくりました。補助金の交付額からこの実績という部分はすべてまちづくり推進課からいただいた資料から抜粋させていただきました。まあ上の町の施策についてもそうですけども。
佐野善弘委員	何年から何年とかってこう.....。
鈴木宏通委員長	入れたほうがいい。
佐野善弘委員	うん。
鈴木宏通委員長	いや、こいつ次のページになったからもあるけどね。申し訳ないんだけどね。こいつ一緒なのね、ここの部分、本当は。(3)から下につながっている部分なんだけど、次のページにたまたまいってしまったからこういうふうに見えるんです。
佐野善弘委員	3カ年のとか.....。
鈴木宏通委員長	うんうん。ここの下に来れば本当はわかるんだけど、3カ年のって入れたほうがいいですか。それとも平成27年から29年のって。(「主なものってね」の声あり)平成27年から29年までの居住地域別ではって入れたほうがいいかな。
山岸三男副委員長	うん。入れたほうがわかりやすいよね。
鈴木宏通委員長	はい。
山岸三男副委員長	131っていうのは3カ年分でしょ。トータルね。
鈴木宏通委員長	そうそう、3年分のトータル。27年から29年の.....
山岸三男副委員長	3カ年のトータルっていうふうになおさらわかりやすいよね。

鈴木宏通委員長	すみません、こいつ直していただいて。「はい」の声あり）あと皆さんにお渡しします。
佐野善弘委員	あと、同じく3ページの政策の提言にこの所管事務調査に行ってきたというようなことで、例えば福井の若狭とか東京のサポートセンターとかあとは岐阜の.....なんでしたっけ、あそこ。白川でしたっけ。「うん」の声あり）そこに括弧書きでも行って来たというようなことでの、なんぼかこうそれくらいは書いたほうがいいのではないかと思うんですけどね。
鈴木宏通委員長	あえて省いたのね。
佐野善弘委員	いや、我々はわかっているけども.....
鈴木宏通委員長	いや、わかる、わからないではなくて要は.....所管事務調査が.....
櫻井功紀委員	いらないよ、そんなもん。入れないほうがいい。
佐野善弘委員	いらないすか。
櫻井功紀委員	入れれば.....近くにあっぺって何回も言われているでしょ。
鈴木宏通委員長	だから所管事務調査の報告がメインではないので、私としては研究テーマが「定住化促進について」なので、そこに行ってきて調査をしたのは間違いないんですが、その部分を踏まえながらのこの、まあ答申書っていうことはないんですけど、資料なので、だからその本町の取り組み、そして近隣自治体の取り組み、そして所管事務調査の先進地の取り組みをすべて.....
櫻井功紀委員	先進地ってどこさって聞かれたら、こことここだって、何月何日にここさ行って来たからって内容はこのような.....
鈴木宏通委員長	定住化促進のほうの提言をしたいっていう方向付けであえて.....
櫻井功紀委員	俺もあえて入れることはないんだ。それでなくたって言われてるんだから。何も税金使ってこんなとこまで行ってやって。
佐野善弘委員	いやいや、どうせ言われるんだから例えばね.....
櫻井功紀委員	言われるか言われないかはわかんないよ。
佐野善弘委員	いやいや、違うのじゃ。総務、産業、建設は出さないけども、教育、民生は出すんですよ。
櫻井功紀委員	教育、民生は教育、民生でいいんでないですか。
佐野善弘委員	いや、そういうことではなくて.....
櫻井功紀委員	統一しろって言うのか。
佐野善弘委員	統一しろってことではなくて、行ったのすかってたぶん聞かれると思うよ。
鈴木宏通委員長	うん。聞かれたら答えればいいのかとっていましたし.....
櫻井功紀委員	事実、この間行って来た。
鈴木宏通委員長	うん、事実として行っている。何月何日にこのとおり行ってきています。この3カ所について。その内容はって言われたらそのときに言っていただけがあればありがたいと思っていますし、その所管事務調査の報告書で

	はないんだと考えたので、私としてはこのとおりといたしました。
櫻井功紀委員	議長に出す報告書はあのとおりだからね。
鈴木宏通委員長	はい。それとは別だと思っていましたので。教育、民生は教育、民生だし、一応今回は、私としては今回の定住化促進に向けての皆さんの提言をいただくという形での……
佐野善弘委員	私としてはこのときにここに行ったというのはやっぱり出したほうが。そしてその中でこういう提言をまとめたというほうが。前みたくこまこまは書かなくてもいいけども。そのほうが私としてはいいのかなと。私としての意見ですけど。
櫻井功紀委員	委員長が言うとおりにね、所管事務調査のやつをここに載せるのではないんだと思いますよ。
佐野善弘委員	いやいやだから、そいつはいいんだけども、ただ調査に行ったっていう……ほら……
櫻井功紀委員	行き先を明記しなさいってということか。
佐野善弘委員	うん、いつごろ行ったっていう……
櫻井功紀委員	いや、明記しなくたっていいんでない。
鈴木宏通委員長	すみません、だから……
櫻井功紀委員	所管事務調査については、ちゃんと議長に報告して出しているんだから。それを開かれた議会なので町民の人たちも見るんだから。
鈴木宏通委員長	はい。そのとおりです。だから私もその件があって、所管事務調査の報告書というのは8月に出しております。議長に向かって。今回は、議会報告会用の提言に向けての定住化促進をどのように皆さんに理解していただいて、そして町の方々が広く意見を募るかというところにあるかと思うんで、私は今まで常任委員会が行ったこの政策提言に向けての2行にすべての集約をしたつもりでありますし。上の文のね。この3つ、本町の取り組みについて学び、近隣自治体の取り組みについて学び、そして所管事務調査において先進地の取り組みから定住化促進の今後のあり方を考察します、という集約の仕方をさせていただいたつもりでございます。 あえて書かないとか書くという問題ではなくて、この部分で今までやってきた流れの中での私たちの政策提言であって、所管事務調査でどこさ行ってきたからの政策提言ではないかという私は理解しておりますし、皆さんにも理解をしていただきながら、そして今回質問がいろいろあるかと思いますが、その部分に対応する資料としても、皆さん各自お持ちだと思いますし、頭の中にも十二分に入っているかと思っていますので、このような文面にあえてさせていただいたところでございます。 昨年までの、所管事務調査の報告書であったかのような以前の議会報告会用の資料でございましたけども、委員長が替わって私なりの今回の委員長としてのまとめをさせていただいたつもりでございますので、この部分は理解をいただきながら、今後進めてまいりたいと考えますが、

	副委員長いかがでしょうか。
山岸三男副委員長	だから、委員長の考えはよくわかったんだけど、意見が出ている以上、それを先進地の名前を2つくらい入れても、それもいらんって言うのか、このままで、あなたが提言したね。悪いけど、私一回も、これ今初めて見せられたんで。
鈴木宏通委員長	皆さんもそうなんです。すいません。
山岸三男副委員長	そういうことなんで、それで今意見が出ているわけじゃないですか。だったらその意見をどのように取り入れるか。それとも取り入れないでこのまま出すか。それをあなたの判断だけでいいのかということなんですよ。
櫻井功紀委員	協議だもん、みんなでしなければ。
鈴木宏通委員長	協議ですので私だけの判断に皆さんの判断も含めて今お話をしているつもりなんですけど。
櫻井功紀委員	意見を取り入れようとしているんだから。
鈴木宏通委員長	一応私なりの主張をさせていただいたところですので、そのままいくとは別に思っていないんですけど。(「みんなの意見を」の声あり)では、すみません。吉田二郎さん、もし何かありましたらば。
吉田二郎委員	ちょっと確認というか、聞いたかったんだけど、町の施策で の再生空き家居住補助金1万円以内って書かれてあったんだけど、月1万円以内ではなかったかなと思うんだけども。
鈴木宏通委員長	そうですね。
吉田二郎委員	それから、(3)の定住促進事業実績の補助金交付額で、2,530万なんだけども、円まで書いてあげれば。
鈴木宏通委員長	俺書いてませんか。
吉田二郎委員	件数はわかるけども.....
鈴木宏通委員長	円とか件とかそういう単位を書けばいいわけね。はい、すみません。そうですね。万で終わっていますね。(「事務局からよろしいですか」の声あり)すみません、高橋さんのほうから。
高橋秀彰主事	ここの数字、先ほど私がワードデータを入れる際に意図的に円を落としてしまったんですが、下のほうの申し込み件数に関しても件なので、円を入れるなら下のほうにも件を入れるのかという話にもなるかと思えますので。本来これは表でつくって、委員長のたたき台に合わせて表の枠をとったものなんです。それで表にして単位を欄外にでも入れる形にした方がいいのかなとも考えていたので、その辺も含めていい意見をいただきたいなと思えます。
山岸三男副委員長	このテーマの資料は議会報告会で住民の皆さんにも配るわけだよな。
鈴木宏通委員長	そうです。
山岸三男副委員長	だからそうすると、我々はこういうのに慣れているから、だいたい見当がつくからわかるけど、住民の皆さんにもう少し親切にわかりやすいようにってやっぱりしないといけないと思うんだよな。だから今高橋さ

	んが言ったようにこれは円とか件とか入れてあげたほうが見る人は見やすいと思う。
吉田二郎委員	あともう1つ。居住地域別ってやつさ、駅東地区とか、この北浦地区ってうんとひっかかったんだけども、行政……北浦地区って……
鈴木宏通委員長	彫堂、駒米、全部はいります。
吉田二郎委員	彫堂、駒米からそっちの……
鈴木宏通委員長	北浦地域っていう。
吉田二郎委員	っていうのね。不動堂地区って言ったら駅前とか、そのブロックで分けるのね。
鈴木宏通委員長	だからそのこの部分の捉え方は、北浦地域に関しては彫堂、駒米っていうところも入った中の43件ということの、これは分類上この取りまとめの部分から拾っただけだったので。
吉田眞悦委員	こいつ南郷地区ないけどゼロだったか。
鈴木宏通委員長	ゼロではないです、もちろん。南郷の部分もありましたけども、上位、多い所から拾ってしまったので。
吉田眞悦委員	したら、入れないとうまくないんでないか。
鈴木宏通委員長	はい。
山岸三男副委員長	これは入れたほうがいいよな。
鈴木宏通委員長	南郷地域の部分も拾って。
吉田眞悦委員	いや、それで。いかすか。
鈴木宏通委員長	はい。
吉田眞悦委員	<p>けんけんごうごういろいろ……。</p> <p>それで、皆さんおそらく、議員皆さんもだけども、こういうつくり方というのは初めてのケースだと思うのね。(「うん、たしかに」の声あり)</p> <p>だから、現状が、ほら俺が言いだしっぺだったからだけども、議会報告会というのは、俺が言っているのは、自分たちの政策提言活動をこういうことをしていますということで、それに至る経緯かつ現状なわけだな。こういう現状があって、町ではこのようなことをしているけども、結局議会としてそれプラスもっとよりよいものを提言活動しましょうというのが狙いなんだよな。</p> <p>だからそれが結局その一環として他町村の情報、もちろん庁内、役場内の関係する課と話をしたり、あとは近隣町村とか、あとは所管事務調査でもっと別な場所にとということで行ったりして、それらをもとにして提言をしていくわけだ。だから結局その提言、結局4番なんだよな、こいつで言うとさ。</p> <p>今うちのほうの常任委員会としては、これは決定ではないんだけども、こういう考え方をしています、だからこれに伴っての町民皆さんの御意見を、よりよいもっと充実した提言をするために皆さんの御意見をいただきますというのが議会報告会の最大のこのテーマに対しての狙いなさね。</p>

	<p>だから、つくり方とすれば、まずこういう流れで俺はいいと思うのさね。調査報告書を皆さんに報告するというではない。まあ今まではずっとそれが主眼に置いてきたけども。ただ、実際とすれば、さっき委員長が言ったのではないけども、人が替われば中身も変えてもっと階段を上る、階段を転げ落ちるんではだめだよ、上っていく方策であれば俺は決して悪いことではないと思うのさね。</p> <p>それで、その4番の、一番大事なところはここなんだよね。常任委員会の考え方だからさ。だから、これだけだと、さっき所管事務調査の行先どうのこうのっていう話も出てたけどさ、結局この(1)から(5)だけをぼんと出したって、俺は、もちろん質問来ればそれに答えればいいかっていうのも1つの手法だかもしれないけど、これは基本的な5つの考え方を表したことなんだよね。だから、この下に、例えばだけどもこういう、例えば(2)番の移住・交流サポートセンター等の定住化に向けた組織の設置と言われてもすぐピンとこないと思うわけさ。</p> <p>だから例えば、それこそ研修に行った何々の町ではこういうことをしていますとか、もう少し付け加えて、下に括弧でもなんでもいいんだ。そうすればその研修の効果も生かされると思うわけさ。行ってきた、行かないとかでなくてさ。だからもう明らかにコメント的でいいから下になんかこう付け加えればよりわかりやすく、そしてそういう研修の関係だってもわかって、どっちにしろ行ってきたということは皆さんたちだってある程度の人たちは……、あいつ10月1日号だか。研修の議会だよりさ載せるの。(「11月」の声あり)11月1日。だから、結局はこいつさ間に合わないんだよな。間に合えば議会だよりには載ってますけどもっていうことでは言えるんだけどさ。</p> <p>だからもう少しここを具体的にというか、研修してきたことをこういう参考事例もあって成功しているところもあるんですというようなことも踏まえて入れてけっとかえってわかりやすいし、さっきけっけんごうごうやっていたことも解消されるんではないかなというふうに思います。</p>
櫻井功紀委員	いや、吉田さんが言うことも……
鈴木宏通委員長	はい。
吉田眞悦委員	<p>そのほうがいいんでないのかというふうに私は思います。</p> <p>それともう1つ。同じページの上のほうなんだけど、最初居住地域別では云々ってずっと言ってっちゃ。さっき別な地域のこともでたけども。ここもねその欄の駅東地区の分譲が終了したためってなってるっちゃ。これ、このままの言葉だとうまくないんでないかと思うのさ。県住宅供給公社分なんだよな。(「そうそう」の声あり)だから保留地の部分はわかんないんだよ。(「わかんなかったの、言葉が」の声あり)だから駅東地区の、あいつ県住宅供給公社でいかったんだっけ。(「正式にはここに、はい」の声あり)……についてはって入れておかないとうまくないかなって思ったのね。</p>

鈴木宏通委員長	そこは思っていました。県供給公社.....
吉田眞悦委員	あいついくらくらいあんの、功紀さん。住宅公社って。
櫻井功紀委員	あいつは.....
千葉一男委員	600 なんぼか。
吉田眞悦委員	670 は全体でないの。保留地も含んでるんでないの。
鈴木宏通委員長	602 だか 603 でなかったすか。
吉田眞悦委員	保留地も含んでるんでないの。
千葉一男委員	そのほかに商業地とか別な.....
吉田眞悦委員	保留地抜きで 670 だっけ。
千葉一男委員	住宅地は 600 なんぼか
櫻井功紀委員	全体でないの。670 は県の住宅公社の分ではないんだ。J Aみどりのとか民間の不動産も入れて。
千葉一男委員	全体で 600 なんぼだから。
吉田眞悦委員	そうしたら、そこを確認しなければならないんだな。
千葉一男委員	たぶん聞かれたら俺.....。全部記憶が古い話だからさ。
吉田眞悦委員	まちづくり推進課に行っさ。
櫻井功紀委員	まちづくり推進課でわかるよね。
吉田眞悦委員	そこで聞けばわかるよね。
千葉一男委員	わかる、わかる。
吉田眞悦委員	委員長いいですか。あと2番目の目的の、言葉尻なんだけどもさ、人口減少化が進むことにより、宅地、田畑等「の」荒廃し、これ田畑等「が」、これ「が」「が」うんと続くのさ。集落機能「が」低下することなど「が」懸念されますとさ。
千葉一男委員	内容を見てちょっと考えてみて。
鈴木宏通委員長	つながりですね。「し」とそのつながりを考えます。
吉田眞悦委員	いいのさ。宅地、田畑等の荒廃「や」にしてだめか。「や」、集落機能が低下する。(「うん」「『や』だな」の声あり) あと、俺の記憶が間違っているんだかもしれないけど、これは皆さんに確認です。この のさ、町の施策の定住促進補助金、 だよ。(イ)の町内居住者で自己が居住する目的で新築、購入した家屋取得.....補助金30万。こいつ自分の家を新築だのっておらの町でもあったんだっけか。
鈴木宏通委員長	私も確認はしましたけど。ありましたね。一応この促進条例と施行規則を見たので。ありましたので記載させていただきました。 だから私(口)からと思ったので、本当は。定住化促進って。(イ)もあったんだなって。
櫻井功紀委員	資料よこされったよね。
吉田眞悦委員	いがす。俺も確認してみるから。
鈴木宏通委員長	一応.....きょう持ってはきてないですね。

吉田眞悦委員	こんなとこ、しっかりと確認すればね。以上です。
櫻井功紀委員	私は吉田眞悦委員が言ったとおり、その内容でいいと思うんです。ただ私がほら、こんなに汗を流して委員長がまとめてくれて、確かにこの4番は我々所管事務調査で出した答えを集計してまとめたやつなんでしょ。それだけ気になった。
鈴木宏通委員長	はい、そのとおりです。
千葉一男委員	はい、次は私ね。 これ、このまま使うんだよね。こういうのを読むとき一番最初に気になるのは、今のところ大事なんだよねっていう、この最初の総務、産業、建設常任委員会の研究テーマ、下に「定住化促進」ってこうなっているのさ。これが研究テーマとして活動していますっていうふうだね、ちょっとこいつを考えたらどうかなって思ったの。これが1つね。これは悪いとかいいじゃなくてね。(「ここの部分の表記ね」の声あり)これが研究テーマでこれやっていますというね。 それからね、ここに4番で政策の提言に向けてってこれは方向としてだよ。いつに提言するのかっていうのもあるんだよね。そこはいつなんでしたっけ。
鈴木宏通委員長	いや、年度内に。12月の議会……
千葉一男委員	年度内でなくて年内でしょ。
鈴木宏通委員長	ああ、年度内でない。年内。すみません。11月に一応政策提言に向けて、12月会議に向けて。
千葉一男委員	では12月の本会議に提言をしていきたいと。こういうことね。それを一応共通認識にして……
櫻井功紀委員	それ最初に言ったっちゃ。1回目のときに。
鈴木宏通委員長	そのように決めてましたので。一応……
千葉一男委員	あと、ここは若狭と白川ですか、行きましたけど。実はこの定住化促進のためにインターネットを使って情報をつかんだりとか、人によっては本を読んだり、いろいろしているわけですよ。その中の1つとして、具体的に研修に行っているわけです。だからその上で行ったところとか感じたこととか、ここの文章をね、とればいいと思うんです。私はこういう本を読んでいます、こうして勉強していますなんて人、誰もいないでしょ。いないけど、実はやっている人もいます、そうやって。人によってはインターネットを使いながら探している人もいますですよ。いろいろ、場所だけじゃなくて。だからその中でここを先進地として研修したというのは全体ではなくて一部だという位置づけでまとめなくちゃいけないんじゃないかと私は思うんですよ。
鈴木宏通委員長	もちろんそうです。
千葉一男委員	具体的にこれについては、俺はたいした問題ではないと思っているんですね、1つ1つは。だからただ、てにをはとか、(「うん、てにをはとかね」の声あり)言うとおりの悪いよりはいいほうがいいからさ。一応そ

	れはよろしく申し上げます。これだけです。
鈴木宏通委員長	<p>では今までの、時間から言ってもいろいろありますが、まず最初から見直していきますと、現状についての部分はよろしいですか。最初の1ページに関しては。(「うん」の声あり)</p> <p>2番の目的に移ります。文言の訂正でございますが、「1行目の田畑等の荒廃や」というような表現に直させていただきます。</p> <p>あと、3番の施策の部分では、まず 番(イ)につきましての町内居住者で自己が居住する目的での新築購入の部分は、もう1度確認をいたします。あと 番目の再生空き家居住補助金では、1万円以内月額というように表記をさせていただきます。(「2年だぞ」の声あり) ああ、2年の。はい、そうですね。(「2年以上ね」「2年以内」の声あり) 2年以内ですね。</p>
吉田眞悦委員	たしかだぞ、これは。そうしたらみんな確認したほうがいいって。
鈴木宏通委員長	<p>こちら辺はもう1回確認します。</p> <p>空き家利活用は、このまま空き家バンクと、あとこの補助件数、交付額は資料提供いただいたとおりであります。</p>
櫻井功紀委員	円入れるの。入れないでしょ。
鈴木宏通委員長	入れないでそのまま.....
櫻井功紀委員	このままでいいでしょ。
山岸三男副委員長	なんだ、さっき入れるって高橋君を指定したっちゃ。
吉田眞悦委員	だから表を入れたらよかった。
鈴木宏通委員長	だから、そう思っただけだったので.....
山岸三男副委員長	え、思っただけ.....
鈴木宏通委員長	交付額と表記があるので、円という言葉はいらなかなという話だったんですが。
高橋秀彰主事	かえってそれなら表の枠をつけて.....
吉田眞悦委員	そうそう。表の枠をつけて。
高橋秀彰主事	右下のほうに単位、円、件って。
吉田眞悦委員	そうそう。そうすればいいのさ。
鈴木宏通委員長	<p>では、枠組みを入れていただくということの解釈にいたします。</p> <p>では、最後のページになります。この部分につきましては、最初の部分の文面に平成27年から29年には、居住地別ではということの申請のことを付け加えればいいんですね。こいつただ、離れているからな。本当は申し込み総件数の内訳なんですが.....</p>
櫻井功紀委員	そうするとこれ入んないのかや。この4行。
高橋秀彰主事	最初のページに2番の目的を上げられればそのまま繰り上がるかなとも思ったんですが、そもそもこのワードファイルのポイントが教育、民生より小さいので、これを大きくするとずれて行って(3)が次のページに行くかなという部分もあるので、事務局で調整させていただいた

	いと思います。
鈴木宏通委員長	そうだね。そこにいくべきだったね。字が大きく……。ポイントがどうかなどは思っていました。
吉田眞悦委員	こいつ、空き家バンクっていうのも下に、空き家バンクあるでしょ。おらほうの町の。空き家バンクの現状、中に入れなくてもいいか。
鈴木宏通委員長	空き家バンクの今の部分ですか。今の登録件数とか。
吉田眞悦委員	うん。登録件数とか。
鈴木宏通委員長	あとホームページの状況とか。入れようかなと迷ったんですが、なんかあまりちょっとみすぼらしかったので。
吉田眞悦委員	まさか現状は……
鈴木宏通委員長	だって7件で更新していないので、しばらく。
吉田眞悦委員	空き家は200何件あるんだべや。町でつかんでいるやつ。
鈴木宏通委員長	もちろん、町民生活課で押さえているのはそのとおりなんですが、バンクに登録されているのは現状4件になっております。
山岸三男副委員長	やっぱり現状をわかってもらうことが……
吉田眞悦委員	うんうん。逆におそらくPRにもなるんでないかと。(「そうそう」の声あり) 町もこういうことしてますよという。
鈴木宏通委員長	では、あとここは空き家バンクに関する数字を入れて、ここの表の部分の実績に関しては次のページに送れるように配置しましょう。そうするとつながるかと思うので。 それと、先ほど質問がありました南郷地域の件数もここの明記したいと思っております。
吉田眞悦委員	入れてけらいん。数は少ないけど、それが現状なんだから。現実なんだから。
鈴木宏通委員長	あと、もう1つは私が勝手に書きました駅東地区の分譲が終了という文面ではなくて、県供給公社の分譲終了とともにというような案文に訂正をしていきたいと……
吉田眞悦委員	分譲終了ではなく、完売。
山岸三男副委員長	完売か。
鈴木宏通委員長	完売すか。
千葉一男委員	完売って言ってたよ。
鈴木宏通委員長	分譲終了でだめすか。
吉田眞悦委員	終了ではないんだよ。
山岸三男副委員長	終了ではないのさ。
吉田眞悦委員	……もあるかもしれないし、あと商業地もあるし。
櫻井功紀委員	商業地もあるし、自分のほうのやつを解体して売する場合もある。
千葉一男委員	住宅は、一応は全部一回は契約終わったけども、まだ管理もあるし、向こうはね……
佐野善弘委員	終了間近のためって。

櫻井功紀委員	完売でいいんでないか。完売して立札立っているんだ。ありがとうって。けどね、建ってないんだ、まだ家が。何年かして建てるっていうのもあるんだけどさ。
千葉一男委員	土地の販売は、住宅地の販売は全部終わったかもしれないけどね。
佐野善弘委員	微妙なとこだからね。
鈴木宏通委員長	終了が近づいているため……。なんて書けばいいですか。
山岸三男副委員長	完売したって言ってるんだから。
鈴木宏通委員長	もちろんそうですね。まあ完売ではないってあとで修正はしましたけども。
山岸三男副委員長	中身はちょっとね。
鈴木宏通委員長	あとは、では事務局と調整しますから。申し訳ないですけど。
山岸三男副委員長	南郷地区入れるのと、北浦地区 43 件に彫堂、駒米って括弧で入れるって言ったんだっけ。
鈴木宏通委員長	入れないで、北浦地区でって。
吉田眞悦委員	大きく分けるっていうこと。南郷は一本だからね。
鈴木宏通委員長	まちづくりでよこした資料に載ってた部分なんで。
山岸三男副委員長	では入れないのね。彫堂、駒米ね。
鈴木宏通委員長	あえて北浦地区……。彫堂、駒米も多いんですけど。 あとは4番の政策提言に向けてについての(1)から(5)までの間にいろいろと事例を箇条書きでも……
櫻井功紀委員	下さ括弧書きでもいい。
鈴木宏通委員長	そのような説明を入れさせていただいて、議会報告会の資料に向けていきたいと考えますが、よろしいでしょうか。(「はい」の声あり) あと私だけでなく、事務局と副委員長を含めて3人で協議をしながらやっていきたいと思えます。よろしいですか。(「はい、いいですよ」「よろしく願います」の声あり) では……(「もう1つ」の声あり)はい。
佐野善弘委員	これを発表するときに所要時間って何分ですか。
吉田眞悦委員	10分。
佐野善弘委員	ですよ。これ10分で……
吉田眞悦委員	いや、このくらいだったら10分で。
櫻井功紀委員	大丈夫だよ。ね。
佐野善弘委員	終わらせる。終わる。
鈴木宏通委員長	終わると思って、私考えたんですが。
佐野善弘委員	終わるんならいいんだけども。
櫻井功紀委員	議長に出したやつ、あれは10分で終わらないからね。
佐野善弘委員	もしあれならどこかここは……
鈴木宏通委員長	端折るの。

佐野善弘委員	うん。端折るところは端折って、みんなで統一して。
櫻井功紀委員	全部読まなくていいから。
佐野善弘委員	見てくださって。
鈴木宏通委員長	だから、町の施策なんかは飛ばしてもいいかもしれないので……見てくださって。
佐野善弘委員	家に帰ったら見てくださって言ってあとはほら。結構縮まるのかな。
千葉一男委員	書いているとおりですから読んでくださって。
鈴木宏通委員長	臨機応変にね。
吉田眞悦委員	毎回、今までだって10分って言ったって10分ではさ。無理なんだよね。
千葉一男委員	終わんねえ。
鈴木宏通委員長	でも、だいたい10分を目途につくたつもりなんです。
佐野善弘委員	今までよりも多いかなと思って。
吉田眞悦委員	こいつゆっくり読んで1時間半かけて読むから。
千葉一男委員	だいたい10分で終わると思う。俺も今これ読んでてね、もうそろそろって言われたときにだいたいここまできてたよ。
鈴木宏通委員長	5分を目途にって言ったので。
千葉一男委員	5分だから。
佐野善弘委員	言葉で発するのか、目視で読むのとはやっぱり違う。
櫻井功紀委員	その班ごとに。総務の委員会の中で。
吉田眞悦委員	俺と功紀さんと千葉さん一緒だっけか。
千葉一男委員	一緒なの。
吉田眞悦委員	一緒でないんだっけ。
佐野善弘委員	同じ、同じ。その3人は同じ。
吉田眞悦委員	だよな。だから3人は一緒さ。
吉田二郎委員	俺と山ちゃんだけだ。
佐野善弘委員	1班。ほら、3人同じでしょ。
櫻井功紀委員	俺、前原君と福田さんと……
吉田眞悦委員	言ったべっちゃ。前原君におらほう年寄りチームだなって。
櫻井功紀委員	1会場ずつ1人ずつ交代でやったらいいっちゃ、眞ちゃん。
千葉一男委員	立派な人ばかりだから大丈夫です。欠席してもいいよ、俺。
鈴木宏通委員長	佐野さん、俺説明するから。
吉田眞悦委員	まず、あとで役割分担決めて。
櫻井功紀委員	こいつは、委員長、29日まで提出するんだっけ。
鈴木宏通委員長	一応今月28日まで提出ってことに。あと印刷する関係もあるんで。
吉田眞悦委員	以上のことを踏まえてもう1回確認しなきゃいけないんでないか。

山岸三男副委員長	合同会議が10月3日に。
鈴木宏通委員長	いや、そこまで……
山岸三男副委員長	その前にね。
鈴木宏通委員長	今月中に出さなきゃない。もしよければ、仮にですよ……
山岸三男副委員長	最終日か。
鈴木宏通委員長	そこまでいかないで、ならば今週中にしたいなと思うので。
千葉一男委員	何。
鈴木宏通委員長	こいつの。もう1回。
櫻井功紀委員	最終校正。
鈴木宏通委員長	だから金曜日……
千葉一男委員	金曜日って何曜日だ。
山岸三男副委員長	21日。
櫻井功紀委員	連合審査が終わってからでいいっちゃ。
鈴木宏通委員長	連合審査か……
佐野善弘委員	連合審査終わってたらね、議会だよりが……
吉田眞悦委員	いつなの、それ。議会だより。
佐野善弘委員	20日の日
吉田眞悦委員	20日。
千葉一男委員	何やるの、集まって。
鈴木宏通委員長	こいつもう1回今直したところを確認してもらおうと思って。
千葉一男委員	私はフリーパスなので。
鈴木宏通委員長	では、一応文面を訂正して、文章を確認していただくために文書箱に置きますので、見てくださってということではダメですか。
吉田眞悦委員	いや……
鈴木宏通委員長	集まったほうがいいですか。
吉田眞悦委員	見てくださいでそれで終わりでは委員会で……
櫻井功紀委員	分科会のまとめのあとでいいんでない。
佐野善弘委員	21日で。
山岸三男副委員長	21日、交通安全大会が10時からあるから……
吉田眞悦委員	あいつ、午前中一杯かかるから。まとめが終わってからでいいべっちゃ。
山岸三男副委員長	ああ、まとめる日。
吉田眞悦委員	まとめが終わってから、この件で2回目の常任委員会をやる。
千葉一男委員	とにかく先に回して、聞けばいいよ、集まったときに。
吉田眞悦委員	文書箱に入れて置くのはいいかもな。でも、同じ委員会だからここで渡せば……。
山岸三男副委員長	では、21日の終了後、常任委員会ね。

鈴木宏通委員長	文書箱に入れてたほうがいいか。
千葉一男委員	そのほうがいいよ。
吉田眞悦委員	何が。
鈴木宏通委員長	文書だけは最初に見ていただきながら、あと会議は21日に。
吉田眞悦委員	分科会一緒なんだから、文書箱さ入れたってもっていかなきゃわかんなくなっから。直接渡しなさい。
鈴木宏通委員長	いかすか。では、21日分科会のまとめ終了後にもう1度確認作業を。本日以上ということで、何か事務局あります。日程的なところとか、
高橋秀彰主事	日程的なところですかね。21日にやるのであれば対応できます。 ちょっとあの、大変個人的な事情で恐縮なんですけど、夏休みが1日残っております、どこかで消化しなければいけなかったんですが、ちょっと来週25日が本会議、26日が例月出納検査というところで、どこで休もうかと思っていたところだったんです。
吉田眞悦委員	今月中か。
高橋秀彰主事	今月中なんです。
吉田眞悦委員	うん。
鈴木宏通委員長	今月中にしなきゃいけないのか。
高橋秀彰主事	それで、明日かなと個人的に思っていますね、明日は無理やり休ませていただきますので、逆にこれに対応する時間が若干とれなかったりもするので、委員長と副委員長に案文を考えていただいて、私はそれを打ち込むくらいのことしかできないかもしれないので、その点、よろしくお願ひしたいと思います。
千葉一男委員	いいよ、それで、休みなよ。
鈴木宏通委員長	その部分は、あと書いて間違ったところを直していただければ。
山岸三男副委員長	1人でやると間違えるから、2人が3人の目を通せば、ある程度.....
鈴木宏通委員長	あとはまたいろんな部分でまた、皆さんに話をいただいて進めますので。
高橋秀彰主事	もう1点、以前に近場の加美町とかあるいは東根市の所管事務調査という話があって、日程的に結構厳しいところがあって、どうしたものかなと思っていたんです。 当初、11月の上旬っていうふうには思っていたんですけど、そのいろいろの県の行事とかが入ってしまったりもして、あとその後に所管事務調査の報告書をつくってという流れを考えた際になかなか11月だともう厳しいかなというところもありまして、10月の中旬、下旬ですと、今度は議会報告会の関係もありますから、議員さん皆さんの都合がとれるかどうかというところがあってですね。 もし、行くということであれば、いつだったら対応できるかというある程度枠をとっていただいた上で先方に打診する形になるかと思うので、そのあたりきょうかあるいは21日に協議いただきたいと思います。
鈴木宏通委員長	難しいところだな.....

山岸三男副委員長	10月25日に報告会終了だからな。そのあとだと29、30、31の3日間しかない。
櫻井功紀委員	議員研修あるっちゃね。29、30どっちかね。
山岸三男副委員長	29、10月か。こいつどこさあるんだや。
鈴木宏通委員長	この間全協でも話したっちゃ。今検討中だけど。
千葉一男委員	あと、東北大学の講義もあるつけよ。
山岸三男副委員長	それはまだ日にち確定はしていない。11月20日は.....。
吉田眞悦委員	あれ、加美町の情報は資料としてもらってたんだよな。
高橋秀彰主事	加美町は資料としては渡していましたね。
吉田眞悦委員	まあ資料は資料だけどな。行けば行ったで資料にないことを聞くことは可能だから。 でも、本当に日程的に.....(「厳しいな」の声あり)今度逆に相手もあるしな。こっちはかりでなく。
櫻井功紀委員	近くだから大丈夫だっちゃ。
吉田眞悦委員	加美ぐらいならなんとかなりそうか。東根は山越えするけど。
鈴木宏通委員長	あと、12月会議に向けての私の政策の提言がまとめも11月中に入ってくるということもありまして、なかなかハードスケジュールではないですかと言われたので。 少し時間を見て。
吉田眞悦委員	教育、民生も12月会議に向けて提出できそうなのか。
高橋秀彰主事	ちょっとそこもわからないですね。
吉田眞悦委員	もし、12月会議でなくて、例えば3月会議はあれにしても、議会はいつでも開けるんだから、2月とか例えばな。何かの2月会議があった中でも、そうすればもう少しそういうのも行ってきて聞いてくるっていうのは可能なのさな。 ただ、12月会議にこれは必ず提出しますよっていうことであれば、やっぱりちょっと難しいんでないか。 あっちの状況もちょっと確認してもらって。
鈴木宏通委員長	では、最終的にもう1回21日に確認事項としてもう1度話し合いをもちたいと考える。あとないですか。よろしいですか。 では、あと先ほど言った訂正点は我々なりに努力しながらつくらせていただいて、あとは校正をしていただきながら、その前に副委員長に見ていただきながら、もう1回21日に皆さんに再協議をしていただくという運びにしたいと思います。よろしいですか。(「はい」の声あり) では、本日の会議これで終了いたします。
山岸三男副委員長	どうも御苦労さまでした。
吉田眞悦委員	え、副委員長、もう1回.....
鈴木宏通委員長	副委員長、御挨拶ないの。
山岸三男副委員長	あれ、終わったんでないの。

鈴木宏通委員長	だって今副委員長って言ったのに。
山岸三男副委員長	御苦労さまでした。
	閉会

会議の経過を記載して相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成30年9月18日

総務、産業、建設常任委員会

委員長